

星空のロマンよ永遠なれ

2011.7.1 たなばたまつり

5班 五味久美

2011.7.1 “市岡七夕まつり”の盛り上がりで充実よ！！・・・私は実感しています。市岡日本語教室に関わるたくさんの方々の力を結集し、創り上げたイベントであり、何よりも大事なこと、学習者の方々と共に日本の文化に触れ、楽しんでもらえるよう様々に尽力することの素晴らしさを、しっかりと提示してくれた催しだったと。

天の川やカササギ橋など七夕にちなむ名所がある枚方市に住む私は、1989年以來毎年続けてこられた宮之阪七夕まつりの底力は何かと考え、宮之阪中央商店街を取材した。丁度、9日のまつりに向けて1000mにわたる商店街の街路灯や交差点に七夕飾り、天の川遊歩道には願いをこめた短冊の笹飾りが並び、風に揺れ、ほんとうにきれいです。また夜には、遊歩道沿いに1000個の灯籠が飾られ、七夕灯路(たなばたあかりみち)として祭を一層盛り上げるよう。まさにその主軸となるのは枚方学生ネットワーク「かささぎ」と知り、私はその若き力に共感して、また新たなつながりをもつことができ、本当によかったです。

市岡日本語教室で長くイベント係として活躍されている大城さんならではの「七夕イベントの舞台裏」で書か



れていた言葉・・・イベントは普段の学習ではできない交流をするのを目的にしている。目的を忘れず、失敗を恐れず、アイデアとやり方を考えれば可能性は無限に広がります。・・・を噛みしめています。七夕まつりを継続する力のカギがこの中にあると思うのです。来年、新たな星の祭りを生み出す予感に、私は今からときめいております。

春期ボランティア研修会

小泉啓子先生

2011.3.25

25日(金)は彼岸過ぎとは思えないほど寒く、風も強い一日だった。それでも暖房の効いた会場は暖かく、震災被災地の方々のことを思うと申し訳ないような気持ちになった。

小泉先生の講義は具体的で分かりやすく、先生の温かいお人柄も感じられて楽しいものだった。

5人の学習者を相手にして行われた「こそあど語」や「あります・います」についての具体的な指導など、「ああ、あんなふうに教えたら分かりやすいのだ」と教えられることが多かった。

- 初級者にはまず実物や写真、絵などを活用して視覚で教えることが大事だ。
- その日の教える内容について、短文を用いてシンプルに頭に入れる指導が大切だ。
- 目(モノ) 耳(発音)と文字とを一致させることで理解が深まる。
- 未習語は必ず事前に導入をすることを忘れないで。
- 「こそあど語」は“距離論”だけでは誤解を招くので“領域論”の観点での指導も必要だ。(ウラ面につづく)